

WOWOW

番組リリース

2011.11.10発行 No.2011-1799

ステージ

中村勘三郎 魂の舞台 三島村歌舞伎「平家女護
島 俊寛」

12月10日(土)夜 9:00

WOWOW
ライブ

平家伝説が生きる島で中村勘三郎演じる魂の歌舞伎を独占中継！海岸をそのまま舞台にする臨場感と感動！中村勘三郎本格復帰後、初のテレビ舞台中継をお見逃しなく！



提供: 鹿児島県三島村

鹿児島市からフェリーで3時間半、人口約120人の硫黄島の海岸で行なわれた、中村勘三郎の歌舞伎公演を本格復帰後初めて放送する。演目「平家女護島 俊寛(へいけによごがしま しゅんかん)」は、平安時代、俊寛僧都が流刑となった最果ての島「鬼界ヶ島」が舞台の物語。硫黄島は、その「鬼界ヶ島」だと考えられており、俊寛が暮らした痕跡も見つかっている。物語の“本当の舞台”での勘三郎の熱演を見ることができる。

硫黄島の海岸をそのまま使った舞台は、物語の中で沖からやってくる船を島の漁師が動かすなど、島民も総動員で作り上げた。夜の海岸に照明が配され、暗闇の中、砂浜が白く浮かび上がる幻想的なステージ。収録は、島のクレーンカメラを含む10台のカメラを設置し、ステージ中継の常識を覆すダイナミックで斬新なものになった。特別な舞台で、勘三郎が魂を込めた演技を披露。

<ストーリー>

平家に反旗を翻した罪で、鬼界ヶ島(きかいがしま)に流刑にされた俊寛僧都(しゅんかんそうず/中村勘三郎)、丹波少将成経(たんばのしょうしょうなりつね/中村七之助)、平判官康頼(へいはんがんやすより/中村勘之丞)の3人。そこに、都から恩赦を伝える船がやってきた。ところが、赦免船に乗れるのは3人で、成経が島で結婚した海女の千鳥(中村鶴松)は乗れないと分かる。さらに、使者の妹尾太郎兼康(せのおのたろうかねやす/片岡亀蔵)から、都で俊寛の妻が殺されたと聞いた俊寛は、妹尾を切り捨て、自分の代わりに千鳥を船に乗せて都に返す。船が去った後、1人になった俊寛は改めて、孤独に打ちひしがれる。

収録日/2011年10月22日

収録場所/鹿児島 三島村(硫黄島)

スタッフ・キャスト/

演出:塚田圭一

作:近松門左衛門

出演:中村勘三郎、中村勘太郎、中村七之助、片岡亀蔵、中村勘之丞、中村鶴松

●新規・追加登録の方はこちら→<https://prgnews.wowow.co.jp/>

●番組写真・資料のお問い合わせ先:Tel. 03-4330-8155 Fax. 03-4330-8156(情報センター)

*都合により、番組タイトル、内容、放送日時を変更する場合があります。